

平成 29 年 12 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 2 月の業種別景況の前月比 D I 値は 1 4 業種の内、好転が 3 業種、昨年同等が 1 1 業種となり、全体の景況感 D I 値も好転している。

一般機器、卸売業、小売業では受注量や販売量が前年同月よりも増加し、売上も増加の様相である。

山口県の中小企業は、景気が回復傾向にあるとする報告もあるが、続く人手不足、経費の高騰等により、十分な収益には繋がっていない。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 12 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：13.8% 悪化：21.3% DI 値：▲7.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：31.3% 減少：20.0% DI 値：11.3% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：20.0% 悪化：17.5% DI 値：2.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（平成 29 年 12 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲16.7	33.3	50.0	▲6.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
20.0	▲11.1	▲50.0	▲9.1	▲20.0	28.6	▲100.0	▲8.5
							

全 体
▲7.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	1, 000円の時給で求人を出す洋菓子店もある。ゆめ花博の物販の賃料は300万円とのことで、組合員単独の出店は難しいと思われる。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	賃金が上昇している。	パン・菓子製造業 下関市
	12月の売上は中旬の冷え込みで客足がややダウンした感じだが、12/24時点の累計で対前年同月比+1.9%とほぼイーブンのペースとなっている。JR西日本のDCキャンペーンで萩市内の宿泊数が10%以上伸びていると聞いたが、当館については若干のプラスの効果に留まっている。明治維新150年関連で萩市・観光協会とのタイアッププロジェクトを検討中である。（経済産業省 29年度補正予算/ニューツーリズム商品開発等支援事業）	水産食料品製造業 萩市
	今後の世の流れが読みづらい。原材料の値上げがじわじわと影響している。また、配送料の増加も大きく、経費の増加が大きい。	水産食料品製造業 下関市
	数年ぶりの大雪などの低温のため作物の生育に影響が出ている。今年の冬は寒波の襲来が予想され、異常気象に伴う野菜価格の上昇が社会的に影響を与えている。企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、仕組みづくりが必要になってきている。また、地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。特に中国においては、自然エネルギーに特化した社会づくりが進んでいるようであり、日本においても、水素ステーションの増設など、具体的な取り組みが必要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	11/24に中国人実習生1名（11/10来日6名の中の1名）が一身上の都合により帰国し、現在、中国人17名、ベトナム人46名の合計63名となっている。	下着類製造業
	平成30年度に向けて地域連携計画を進める下関の組合員や設備投資企画を進める組合員がある。山口県内の企業は分業化が進んでいない分、独自ブランドの製造から販売が出来るところが強みであり、悪いなりに頑張っている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	学生服は現状維持となっている。	外衣・シャツ製造業 下関市

	店頭の売行きが悪くメーカーの様子見の発注が続いている様であるが、発注数は伸びており平成30年2月納期までの仕事量は十分にある。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	機械の修理が終わって以後、少しずつ回復している。	製材業・木製品製造業 山口市
	公共事業関係の入金があったので、資金繰りは若干良くなった。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	チラシの需要期を迎え受注量は増えたが、前年同月比で見ると受注量は減少しており、確実にチラシは減少している。	印刷 下関市
	従業員が定着しない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	12月の出荷量は、 (平成28年12月) 骨材 68%、路盤材 79%、再生材 97% ↓ (平成29年12月) 骨材 148%、路盤材 92%、再生材 92% 高齢化や長続きしない若い社員も少なくない。従業員の人手不足は相変わらず続いている。	砕石製造業
	出荷量は、前月比108%、前年同月比109%。今年度の見通しは対前年95%。現時点のセメント・骨材等の資材調達では、特に問題は生じておらず、生コン価格は安定している。	生コンクリート製造業
	組合員の話では仕事はあるが利益が少ないと言った声が多い。昨年ほうほう年で仕事が少なかったが、仕事量に合った最低限の従業員数を確保しつつ、必要であれば臨時の手伝い等にて対応する事も考えるべきである。	石工品製造業
	12月に入り萩市内のツアーや個人の観光客もまばらになり、28年同様、11月と比べてもかなりの落ち込み。平成27年の賑わいから一転、28年と同じく落ち込んだ状態が続き、29年は28年からの横ばいが続いている状況。東京浅草にあるアンテナショップはオープンからちょうど2年が経ちビル自体の入館者数が減少し、健闘はしたものの売上は28年を大きく下回った結果となった。12月の百貨店や陶器店、ギフト関連における売上は、前年同月比で横ばいといったところ。29年一年の売上は、前年比で大きく減少した。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	各組合員とも引き続き良い方向へ進み、笑顔の新年となりそう。自動車関連(金型を含む)・海外ブランド関係は好調を維持している。鋼構造物(鉄骨建屋関係)は、市内の分譲地(JT産業跡地、ゴルフ場跡地)への進出企業の工場建屋の受注により、当分の間(6か月以上)好調の見込みである。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車、造船関係等全ての職種で業績は好調で残業も多く、外国人技能実習生受入の増員の相談が続いており、職种的に受入が難しい業種からも相談が多い。食品加工業1社が12月で工場閉鎖することが決定し、実習生は他の企業に転籍することとなった。介護の受入については、複数の施設から受入の相談、要望があり、受入の体制整備に取り組んでいる。なお、11月1日付で、組合は一般（優良）組合の指定を受けたので、実習期間5年への延長等が可能となり、多くの企業からの要望もあり、移行の手続きをしている。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
輸送機器	<p>車両部門をはじめ精密加工、産業プラント部門とも作業量の増加に転じ、受注の消化対策が課題となってきた。予想では3部門とも平成30年春までこの勢いは続くと思われる。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
卸売業	<p>海苔の入庫が増加し前年より売上が微増となり、在庫も7.6%増加した。相変わらず海苔の質は悪く、値段が高いが、昨年よりは状況が良くなっている。組合員各社、在庫を持つために購入しているとみられる。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>養殖フグの生産量が多く、単価は安いですが収益が上がっている。時化が多く天然フグは高騰ぎみ。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
小売業	<p>化粧品業界の売上は全体的に微増の模様。路面店は前年並、インショップでは抽選会などの催等により前年同月比で微増している。メーカー新商品の発売はなかったが、個店の頑張りや、ごひいき様の数も影響している。別の話だが、来年度から資生堂が形態を変え、山口支店がなくなるとのこと。メーカーと連絡を密にとらないといけない業種であるので、資生堂製品の売上は下がるかもしれない。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>当商店街への新規開業店が多く、V字回復した商店街としてマスメディアに注目されている。ほとんど全ての店が組合に加入し、良好な運営がなされている。JR岩国駅舎の新築、それに合わせた商店街合同の売り出し・抽選会なども実施し、年の瀬の街の表情は明るい。マスコミでも採り上げられたように、米軍属の人口が増加したことから、これを見込んだ商売や仕組みが顕著化している。市のシティプロモーション催事が日米交流をテーマに中通り商店街で実施されるなど注目度も増している。一方で飲食店の忘年会需要は、米軍再編で岩国入りしていた工事業業者が仕事を完了させて引きあげ、平日の予約がやや悪化した。それでも全体としては悪くない。今後は街づくりの進捗に合わせて、効率的な商業活動</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>

	を展開していくことが求められる。	
	イベント“冬の山口デー”が12/9から始まり少し賑い、ボーナス月でもあり買物客は増加している。急に寒くなったことも影響しているかもしれない。12/23にイベント“どうもんクリスマス大輪投げ大会”を初開催し、親子連れも多く売上増につながった。	各種商品小売業 山口市
	例年通り冬の催事が実施された。今回は新駅ビル2階デッキも期間限定で開放され、御幸通りのイルミネーションもより楽しめた様子である。	各種商品小売業 周南市
	先月同様、昨年に比べ商店街への来客数が減少している。18～22日に「大歳の市」(ガラポン抽選会)を開催し、来て頂いたお客様には喜んで頂いた。しかし、商店街への来客数増加までには繋がっていない。	各種商品小売業 下関市
	先月同様、客数、売上とも前年を下回る状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	雇用確保の難しい状況が続いている。景気回復までには遠いが連日の寒さの影響で、衣料品を中心に生活用品等で売上の維持が出来ている。	山口市
	寒さのせいかな個人消費の低迷が見られる。	宇部市
	各店年末商戦で頑張っているが売上は伸びていない。食料品店は年末にかけ多少売上のアップを目指し頑張っているが、他の業種の話は厳しいという声だけである。組合もこの様な現状から脱却する方法を模索しているが、方法が見つからないでいる。	萩市
サービス業	12月に入り寒さも手伝って年末の感が出てきたが、前半の売上は横ばい。中頃から例年通りの忙しさになり月末まで続き、多少、前年よりも数字が上がった感がある。	美容業
	組合員に聞いても依然として景気回復の実感がなく、今後についても不安視している。	理容業
	全国的に自動車の整備士不足が大きな問題になってきている中で、国は自動車整備業界で女性が働きやすい環境整備を整えるため、「自動車整備業における女性が働きやすい環境づくりのためのガイドライン」を策定し、女性整備士受入のための準備を進めている。このガイドラインは、女性整備士の作業負担を減らすなどの改善策を盛り込んだものとなっているが、果たして女性がこちらを向いてくれるか、今後、整備業界でしっかり対応することが鍵となりそうである。	自動車整備業

	下関市内でも地域によって景況感が違う感じがする。	スポーツ・健康教授業
	天候の影響もあり業界全体が厳しい状況となっている。年末に向け各社売上アップの工夫をしているが、なかなかいい話は出てこない。チケット販売等で売り上げを確保しているところもあるが、前金の前倒しということで、冬場の閑散期はさらに厳しい状況となるのではないかという話もあった。	普通洗濯業
	年末～2月の期間は団体客の扱い量の減少により売上高の減少は否めない。	旅行業
	宿泊人員95%、売上高98%とともに前年割れとなった。スポーツ大会等受入施設の減少が影響している。また、12月に入りJR西日本のDCキャンペーンの効果も薄らいできた。	旅館業 山口市
	観光宿泊に関しては昨年よりやや伸びているが、ビジネス宿泊については宿泊人数・単価ともに下がってきて厳しい現状。人手不足が解消されない。	旅館業 下関市
	売上高は前年比で減少となった。入浴者数は前年比で変わらず。設備の老朽化による不備が生じ、水道光熱費等が増加し収益が悪化した。	旅館業 長門市
	12月は1年の中で最大の繁盛期であるが、色々なところで人手不足が感じられた。人手不足には、サービスの低下や質の低下という不安要素がある。この中でも売上はほぼ例年通りであった。	飲食業
建設業	山口支部の中電への工事申請は343件。太陽光発電の申請97件、オール電化申請167件。LED街路灯への切替・新設は18件であった。12月15日締め太陽光発電売電価格適用分があったため駆け込み受注があった。	電気工事業
	工事量はあまり増えてないが技能者不足で工程が遅れ気味である。平成27年度決算と比較し平成28年度決算で完成工事高及び純利益の減っている同業者が多い。	左官業
	平成29年度の発注が終わり、2月末の納期に向けて受注済みの仕事を熟している。教育等の時間が取れないや2月末までの期限採用となること等で新規採用も難しく、人手不足の状態のまま仕事をしている。燃料費はジワジワと上がり122円。	管工事業
	例年に比べ工事量が幾分か少なく、年明けの仕事の確保が厳しくなりそう。	屋根工事業

	<p>工期のズレ込みによる各工程の遅れが目立ってきた。年度未完了予定の公共工事が、予定より大幅に遅れ、各専門工事業者(下請け)にしてみれば、竣工寸前で途轍もない人員と経費が発生するのではないが大変不安である。建設工事は、着工から竣工までの工程の中で、各専門工事業者が責任をもって工事を遂行するものであって、仕上業者が竣工寸前でこれまでの遅れを取り戻すのは不可能である。また自社及び業界の為にもそのようなお粗末な工事を請け負うべきではない。この原因は元請業者と設計監理者の管理能力の無さによる部分が大きく、それらに対して下請け業者は、強く言える様にならないと建設労働者不足はますます酷い状態になるであろう。</p>	<p>内装工事業</p>
	<p>建設業においても、働き方改革が中央で議論されている。日建連(大手建設業者の集り)では週休2日制を進めるとの事である。地方においては人手不足と工事量の減少で、そんな事を考えている経営者は1人もいないと思われる。これが実現すると人手は中央・大手に集中して、地方・中小企業はますます泣きを見る事になる。本当に地方・中小企業の事を考えているのだろうか。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>12月の受注高は、対前年同月比7.4%。今年度の累計は、対前年比61.8%</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
<p>運輸業</p>	<p>輸送関係は年末で輸送量は増加したが、車輛不足は相変わらず解消されない1ヶ月であった。鉄鋼素材及び製品等の輸送や、輸出及び中距離輸送が活発であったが、前年同月比は約0.3%のプラスであった。“働き方”によるドライバー不足は一層深刻化しつつあり、中小運送業の経営も圧迫感が強まってきている現況である。油関係は5円の値上げ。運賃の据え置きの中にあつて、前月からの油の値上げもあり、引取税の縮小が一層強く求められてきている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>今月の輸送受注は、昨年比5%程度のプラスとなり4ヶ月連続の増加となった。しかしながら、燃料費も6ヶ月連続して上昇し、前年同月比で約15%程度上昇している。乗務員不足については相変わらずの状況にあり、改善のブレーキとなっている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>売上、収益状況ともに好調であった。山口市拠点の売上、利益の増加が目立っている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>売上は前年同月比で僅かに下回った。年末というのに、通常月と変わらない状況。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 下関市</p>

	<p>タクシーチケットの取扱金額は、前年比+1.9%（平成29年11月1日～平成29年12月20日分）。11月1日～30日分は+1.9%、12月1日～20日分も+1.9%。平成29年9月中旬からゆるやかですが増加傾向にあるように思われる。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域。</p> <p>11月分については、周南+2.7%，下松+7.0%，光+4.9%，防府市地区が△10.1%で、組合員の全域では+0.7%、地区外（員外）+20.3%で合計+1.9%であった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動する。CPが少し下がり（前月580.0\$/トンが今月575.0\$/トン、前年430.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油が大幅に上昇（前月340.0\$/トンが今月377.0\$/トン、前年335.0\$/トン）したため、前月と同額になり、前年12月分に比べると+18.8%となった。年末の繁忙期で消費量も多いため、タクシー事業者にとってはこの負担増が大変な模様である。タクシー乗務員は慢性的に不足しているが、稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況もある模様。12月最終週の動きが読めないが、ゆるやかながら景気が回復しているように思われる。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>
	<p>今月も、若干、取扱高が伸びた。対前年比では増加として差し支えない数字だが、大部分の割合を占める鉄鋼関係以外の伸びでもあるため、このまま推移するとは限らないが、取扱高の増加の報告が出来るだけでも結構なことだと考えている。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>この度、外国人技能実習制度において監理団体として正式に許可をいただいたので、平成30年は初の外国人介護士受入を目指し頑張りたい。</p>	<p>介護事業</p>